

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	わくわくエジソンふくしま鷺洲教室		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 10日		～ 2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃からこどもの状況などを保護者と伝えあい、共感的な支援を行っている	送迎時や電話連絡の際、保護者とコミュニケーションを取り、情報共有している	情報共有したことを会議などで話し合い、適切な支援につなげる
2	プログラムの内容が固定化されないように工夫して提供している	日々のプログラムは、内容が固定化しないようランダムで担当 子供たちの意見も取り入れて決めている	合同イベントや親子イベントなどの企画
3	子供たちの活動に合わせたスペースの活用	構造上、活動スペースの拡大やバリアフリーは難しいが、庭で自然と触れ合ったり、夏はプールなどを活用している	植物を植えたり庭の活用方法を考える

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアトレの開催や保護者同士の交流が少ない	他教室と合同でペアトレを開催できたが、平日利用の子どもや保護者の参加が難しかった	開催時期や、曜日の調整。 より多く参加してもらえるようSNSなども活用して周知する
2	バリアフリー化されていない	構造上、入り口の段差をなくすことは難しい。	玄関マットの使用。斜面になっている鉄板で滑らないようテープで滑り止めをしている
3	送迎時などに人員が不足になることがある	他教室と協力して調整を行っている	人員を増やすことで支援の向上を図る